

主な指標（★は新規の指標）

施策展開	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
------	----	----	--------------	---------------

〔各分野にまたがる基盤整備・地域づくり〕 環境を守り活かす人づくり・地域づくりの推進

1	環境保全活動について県と連携した市町・事業者・民間団体数	団体	99	109
1	★GXに関する現地技術指導件数	件	15	23
1	環境保全活動や環境学習講座等への参加状況	%	27.1 (R7.6)	40.0

〔地球環境分野〕地球温暖化対策の推進

2	温室効果ガス削減率	%	▲26.1 (R3)	▲46
2	「脱炭素に向けたライフスタイル等の転換」を意識した県民行動の定着度	%	79.5 (R7.6)	90.0
2-1-3	森林整備面積	ha	3,986 (R2~R6)	5,000 (R8~R12)

〔資源循環分野〕循環型社会の推進

3	一般廃棄物の最終処分量	万t	2.4(R5)	2.2
3	産業廃棄物の最終処分量	万t	12.4(R5)	10.1
3-1-3	★食品ロスの発生量	t	25,476 (R5)	22,200

施策展開	指標	単位	現況 (R6年度)	目標 (R12年度)
------	----	----	--------------	---------------

〔自然環境分野〕自然と共生する地域づくりの推進

4	生物多様性の保全に向けて県と連携した事業者・民間団体数	団体	12	17
4	生物多様性に関する県民の認知度	%	44.6 (R7.6)	50.0
4-4-1	★農地中間管理事業による貸付面積	ha	4,221	6,000
4-4-2	★みどり認定者数	経営体	64	256

〔生活環境分野〕安全・安心な生活環境の保全

5	環境基準の達成状況 (大気、公共用水域、航空機騒音、ダイオキシン類)	項目	6(R5)	7
5	生活環境の向上 (大気・水・騒音の満足度)	%	56.2 (R7.6)	62.0

- ・ 2 香川県みどりの基本計画

香川県みどりの基本計画の概要

1 計画策定の趣旨

本県の森林・林業を包含した緑化の推進とみどりの保全に関する基本的な考え方を明らかにするために策定する。

2 計画の位置づけ

- ・「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」の基本方針に沿って作成する計画
- ・みどり豊かでうるおいのある県土づくり条例第6条に基づく計画
- ・香川県環境基本条例に規定する自然環境の保全やみどりの創出などに関する分野における基本的な計画

3 計画の期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

4 計画の対象範囲

「森林、農地、草地だけではなく、公園などを含む市街地や海辺・島しょ部など県土全域の植物が生育する環境」を対象とする

5 基本目標

「みどり」と人・社会との関わり方に焦点を当て、いかに「みどり」とふれあえる機会を創出できるのかを考慮
『みんなで育み、活かし、未来へつなぐ、香川のみどり』

施策区分

施策の柱

大項目

中項目

1 みどりを育む

- 1-1 持続可能な森林経営の確立
- 1-2 多面的機能の保全
- 1-3 すぐれた自然の保護・保全

2 みどりを活かす

- 2-1 県産木材の利用促進・需要拡大
- 2-2 里山再生の推進
- 2-3 森林公園等の地域資源の活性化

3 みどりをつなぐ

- 3-1 森林・林業の担い手育成
- 3-2 みどりづくりへの理解と参加の促進
- 3-3 県民参加のみどりづくりの推進

みどりを育む

・近年の林業に関する社会情勢の動向を踏まえ、**航空レーザ計測データ**を活用した本県の森林資源の状況把握や、**ドローンやICT機器**の導入支援などによる森林施業の効率化と生産性の向上、**花粉の発生源対策となる少花粉品種**の供給体制の整備などに重点的に取り組みます。

みどりを活かす

・近年、より一層、身近なところで**自然環境とふれあえる場の創出**が求められていることから、県民が安全・安心・快適に森林公園などを利用できるよう、計画的な施設・設備の整備に重点的に取り組みます。

みどりをつなぐ

・林業後継者や施業を担う現場作業員の確保・育成が重要な課題となっていることから、林業従事者が生きがいを持って働ける**魅力ある林業の実現**に向けて重点的に取り組みます。

主な施策展開①

みどりを育む	施策展開	取組内容
1-1-1 森林整備の推進	エ) 花粉発生源対策等優良種苗の 安定的な供給体制の整備	・ 花粉の発生源対策となる少花粉品種や成長が早いエリートツリー等の優良種苗など、多様なニーズに即した、スギ・ヒノキのコンテナ苗や優良な広葉樹の育苗などの試験研究に取り組むとともに、これらの苗木のさらなる供給体制の強化に向け、少花粉品種やエリートツリーの採種園整備に努めます。
1-1-3 施業の集約化の促進	ア) 森林関連情報の活用	・ 航空レーザ計測データを活用して森林資源情報の解析を行い、樹種や材積量など詳細な森林資源の状況や、林内路網の整備状況などの情報を収集・整理し、林業経営体による施業の集約化を実施するための基礎データとして活用します。
1-2-3 適正なみどりの保全	イ) 盛土等の安全対策	・ 盛土等に伴う災害から人命や財産を守るため、宅地造成及び特定盛土等規制法（通称：盛土規制法）に基づく「許可制度」、「届出制度」等の適正な運用により、不法な盛土等の造成を防止するとともに、関係機関と連携しながら、不法盛土等を早期に発見し、被害の未然防止に努めます。

主な施策展開②

みどりを活かす	施策展開	取組内容
2-1-1 「かがわヒノキ」等県産木材の加工・流通体制の整備	ア) 県産木材の加工施設の整備への支援	・間伐などにより搬出された県産木材の安定的な受け皿となる、新たな県産木材の加工施設の整備を支援します。
2-1-3 県産木材の普及啓発	ア) 「かがわヒノキ」の認知度向上に向けた普及啓発	・「かがわヒノキ」ロゴマークやソーシャルメディア等を活用したPR活動や、公共施設等における県産木材製品の設置等を行い、「かがわヒノキ」等県産木材の認知度向上を図ります。 ・香川県木材需要拡大協議会が行う木材関連イベントの開催などの取組みを支援するとともに、木材関係団体や森林ボランティアなどと連携して、県産木材普及のためのイベントや県産木材製品の展示会等の開催を行い、県産木材製品の販売促進と需要拡大を図ります。
2-3-1 森林公園等の地域資源の活用	ア) 森林公園の整備・管理	・森林公園の利用を通じ、県民に森林の大切さや保全の意義について理解を深めてもらえるよう、計画的な施設・設備の整備に努めるとともに、年間を通した利用が進むよう、多彩なイベントの実施や効果的な情報発信などに取り組むほか、森林公園の魅力を高め、より一層活用していくための方策についても検討します。

主な施策展開③

みどりをつなぐ	施策展開	取組内容
3-1-2 担い手育成の促進	イ) 県立農業大学校「林業・造園緑化コース」の運営	・「林業・造園緑化コース」で養成した人材が、森林組合等の林業事業体で即戦力として活躍できるよう、森林・林業について幅広く基本的な知識を学べるようにするとともに、現場での実習のほか、シミュレーター等を使用して林業労働災害防止に関する学習や、高性能林業機械を操作する技術・技能を身に着ける学習を行うなど、実践的なカリキュラムを実施します。
3-1-3 林業労働力の確保	ア) 雇用の安定化	・林業労働者の雇用の安定化を図るためには、能力に応じた所得を確保するとともに、職業生活に対する不安を取り除き安心して働ける雇用環境へ改善することが必要であるため、森林組合や民間事業者などの林業事業体に対して、事業量の安定的確保と相まって、通年雇用化や月給制導入に努めるよう啓発を促進します。
3-2-2 みどりを守り・育てる人材の育成	ウ) 森林ボランティア活動等が継続する取組みの検討	・森林ボランティア活動を担う人材の高齢化などにより、後継者の確保が課題となっていることから、森林ボランティア活動などが継続していくために必要な取組みについて検討します。
3-3-2 みどりを活かした地域づくり活動の推進	エ) 里海づくり活動の促進	・山・川・里（まち）・海を一体的に捉え、人と自然が共生する持続可能な豊かな海の実現に向けた里海づくり活動を促進します。

主な指標（★は新規の指標）

施策項目	指標	単位	現況（R6年度）	目標（R12年度）
1 みどりを育む				
1	森林整備と木材利用に関する認知度	%	42(R7.6現在)	50
1	森林整備面積（累計）	ha	3,986(R2～6累計)	5,000(R8～12累計)
1-1-2	林内路網延長	km	1,777	1,819
1-2-5	★50歳未満の狩猟免許所持者数	人	540	640
1-3-4	生物多様性に関する県民の認知度	%	45(R7.6現在)	50
2 みどりを活かす				
2	みどりの豊かさ（森林・公園など）の満足度	%	61(R7.6現在)	67
2	★県産認証木材の平均搬出量	m ³	12,669(R2～6平均)	15,000(R8～12平均)
2-1-2	★県産木材を利用した建築物数	件	65	70
2-2-1	★広葉樹林の整備面積（累計）	ha	13(R2～6累計)	25(R8～12累計)
2-3-1	森林公園の入園者数	千人	634	761
3 みどりをつなぐ				
3	新規林業就業者数（累計）	人	49(R2～6累計)	50(R8～12累計)
3	県民参加の森づくり参加者数	人	9,071	10,000
3-1-3	★森林組合等の雇用労働者の年間就業日数210日以上の者の割合	%	63(R5)	73(R11)
3-2-1	どんぐり銀行新規預金者数	人	662	1,000
3-3-1	緑の少年団の団数	団	52	57

- ・ 3 香川県地球温暖化対策推進計画

香川県地球温暖化対策推進計画の概要

1 計画策定の趣旨

温室効果ガスの削減を図る「緩和策」と気候変動の影響に備える「適応策」を総合的かつ計画的に推進するために策定する。

2 計画の位置づけ・性格

- ・「香川県環境基本計画」の地球環境分野に関する個別計画
- ・地球温暖化対策の推進に関する法律第21条に基づく「地方公共団体実行計画(区域施策編)」
- ・気候変動適応法第12条に基づく「地域気候変動適応計画」

3 計画の期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

4 基本目標

県民みんなで取り組むカーボンニュートラルの実現

施策区分	施策の柱
大項目	中項目・小項目
1 温室効果ガスの削減を図るための対策(緩和策)	1-1 徹底した排出削減対策の推進
	1-1-1 家庭・企業のカーボンニュートラルの推進
	1-1-2 移動・輸送のカーボンニュートラルの推進
	1-1-3 循環型社会づくりの推進
	1-1-4 CO ₂ 以外の温室効果ガス対策の推進
	1-2 再生可能エネルギーの導入促進
	1-2-1 太陽光エネルギーの最大限活用
	1-2-2 地域と共生した再生可能エネルギーの利活用
	1-3 吸収源対策の推進
	1-3-1 森林や藻場を生かした吸収源対策の推進
	1-3-2 都市緑化の推進
	1-4 脱炭素成長型経済構造への移行促進
	1-4-1 次世代エネルギーの利活用
	1-4-2 GX関連産業の活性化
2 気候変動の影響に備えるための対策(適応策)	2-1 気候変動適応策の推進
	2-1-1 気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の提供等
	2-1-2 熱中症対策の推進
	2-2 各分野における気候変動適応策の推進
農林水産分野、水環境・水資源分野、自然生態系分野、自然災害分野、健康分野、産業・経済分野、県民生活分野	